

# 写真

## 美術科 写真コース

**TW** テキスト作品科目 **TX** テキスト特別科目 **S** スクーリング科目 **必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

### 写真コース専門教育科目

STEP①

なぜ写るのか、なぜ写すのか。まずは基本のことから「知る」。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

1年次

写真演習 I-1	写真日記／セルフポートレイト	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		写真を学ぶスタートとして日々写真を撮影する。カメラ、撮影対象は自由。継続した写真を日記にまとめることから自己の視点・意識を理解していく。自分を被写体とした作品を制作して、美術および写真表現の原点を学ぶ。
写真演習 I-2	絞りとシャッター／露出補正	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		写真はカメラによる露光という物理現象がその表現を支えている。カメラのメカニズム、絞りとシャッターの構造や被写界深度などによる映像効果など、写真撮影を支える基礎知識を制作を通じて学ぶ。
写真 I-1	クリエイティブ	<b>S</b>	<b>必</b>	1		写真による表現とは何かを考察して、自己のイマジネーションを画像に表わしていく制作過程を学ぶ。
写真 I-2	デジタル基礎	<b>S</b>	<b>必</b>	1		デジタルカメラ及びデジタル画像の原理を理解して撮影と制作実習を行う。
写真 I-3	写真原理／ピンホール	<b>S</b>	<b>必</b>	1		写真映像がなぜ映るのかを光学的現象と原理に遡り、体験とともに理解する。
写真 II-1	撮影基礎1	<b>S</b>	<b>必</b>	1		一眼カメラの構造、操作の基本、絞りとシャッターの関係、露出補正などを学び、撮影実習を行う。
写真 II-2	撮影基礎2	<b>S</b>	<b>必</b>	1		4×5ピューカメラの機構を元に、カメラの原理や露光のメカニズムを理解し体得する。
写真 II-3	ライティング基礎	<b>S</b>	<b>必</b>	1		ストロボ、タンクスデン灯LFDなどの光を理解して基本的なライトコントロールとライティング技術を学ぶ。

STEP②

様々な表現や作品を「見る」ことで、感性と技術を養う。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

2年次

写真演習 II-1	フォト・コラージュ／作品制作a	<b>TW</b>	<b>必</b>	2		写真はさまざまな分野やメディアと融合してきた。近年もインスタレーションやミクストメディアといったスタイルで多彩な表現形態を示している。そのもとになったコラージュ作品を理解し制作する。多数の写真をまとめる時、その流れと構成は、写真を撮影制作するのと同じくらい重要なことである。作品を見せることを意識した編集力も身につけていく。
-----------	-----------------	-----------	----------	---	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
写真演習 II-2	アザーズポートレイト／作品制作b	TW	必	2		他者の肖像を撮ることにより、セルフポートレイトとは異なる人物表現を学ぶ。同時にコミュニケーション能力の開発と向上を図る。 作品の制作を意識し、継続的に撮影制作した作品をポートフォリオにまとめる。
写真 III-3	写真知見	S	必	1		写真史と写真作家について学ぶことを通じて、現代の表現に至る道筋を理解し、自己の作品制作に実践的に役立てる。
写真 III-4	スナップ	S	必	各1		手法の実践として撮影と制作実習を行う。“撮る”行為と“創る”行為を体験的に学ぶ。
写真 III-5	フォト・コラージュ	S	必			
写真 IV-1	デジタルフォト1	S	必	1		デジタル画像(静止画)を、撮影と入力・処理・出力のプロセスをマスターした上で、作品化する。コンピュータの基本操作に慣れるとともに、デジタルイメージへの発想・構想にアプローチする。
写真 IV-2	見る	S	必	1		視覚芸術である写真にとって、作品と展示を観ることは重要な行為である。展覧会の企画・構成を意識して鑑賞。たくさんの写真展をみるとことによって自身の知識と思考を高める。
写真 IV-3	ポートフォリオ	S	必	1		作品をまとめどのように他者に伝えるのか。ポートフォリオ(作品集)の定義と基本を学び、プレゼンテーションツールの制作を通じて、作品をいかに他者に伝えるかを実践的に学ぶ。

STEP③

## 写真表現の技術を拡げ、さらに制作の領域を拡げる。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
写真演習 III-1	作品ポートフォリオ1／作品ポートフォリオ2	TW	必	2		組み作品で構成したポートフォリオ(作品集)を制作する。写真を撮るだけではなく、作品についての思考・技術・選択眼・構想、全体の流れや編集などをトータルに咀嚼して、卒業制作に繋がる継続的に制作することを目指す。
写真演習 III-2	スタイル・ライフ／コンストラクティッドフォト	TW	必	2		構成やライティングに注意しつつ、静物作品を制作する。被写体や作品世界を創り、それらを構成し撮影・作品化する。
写真 V-2	プレゼンテーション	S	必	1		写真の展示と保存方法を実践で学ぶ。より効果的な作品発表のスキルを学ぶ。
写真 V-3	ワークショップ・ゼミナール	S	必	1		第一線で活躍する写真家を迎えて講義と実習を行う。作家それぞれのスタイルや、その作家独自の制作テーマ、考え方につなげられる。作家との対面という極めて貴重な時間の中で、手法やテーマの立て方等を学ぶ。
写真 V-6	デジタルフォト2	S	必	1		デジタルカメラを用いた撮影、入力、処理、出力、保存を通じて、より高度なデジタルファイルプリント制作を行う。
写真 V-7	ライティング・アドバンス	S	必	1		高度なライティングによる静物撮影技術を修得する。ライティングテクニックを駆使、発展させてイメージの具現化を行う。
写真 V-12	作品批評	S	必	1		多角的な作品批評を受けることにより、自己の作品についての客観的な理解と判断力を学習する。
写真 V-14	デジタル・プレゼンテーション	S	必	1		デジタル環境において多様化する写真の新しいプレゼンテーション方法を、その発信の方法も含めて学ぶ。

## 学びの成果と自分のテーマを、ひとつのかたちに完成させる。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
写真演習Ⅳ	事例研究／ プレゼンテーション・ポートフォリオ	TX	必	4		卒業研究のベースとなるリサーチを行う「事例研究」と、展示とはまた別の形での卒業制作の完成形としての「ポートフォリオ制作」によりプレゼンテーションツールを作成する。
卒業制作		S	必	6		学習の集大成として作品を制作する。授業を通じて、対外的に発表することができるクオリティと完成度のある代表作を制作する。ディスカッション、数回の審査を通じ作品の完成度を高めていく。